

会 議 録

会 議 名	令和7年度第1回小金井市市民協働推進委員会		
事 務 局	市民部 コミュニティ文化課		
開 催 日 時	令和7年7月23日（水） 18時30分～19時30分		
開 催 場 所	前原暫定集会施設 A会議室		
出 席 委 員	田中敬文 委員長 邦永洋子 副委員長 石黒めぐみ 委員 森田眞希 委員 森 純一 委員 深澤 亘 委員		
欠 席 委 員	な し		
事 務 局 員	1 小金井市 コミュニティ文化課長 中川法子 コミュニティ文化課係長 津端友佳理 コミュニティ文化課主事 佐原涼太 2 小金井市市民協働支援センター準備室 北脇 市民協働推進員 赤石 市民協働推進員		
傍 聴 の 可 否	一部不可		
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由	協働事業提案制度に関する議題のため	傍聴者数	0人
会 議 次 第	(1) 令和6年度小金井市市民協働支援センター準備室の活動状況について (2) 令和7年度実施協働事業提案制度の進捗について (3) 令和8年度実施協働事業提案制度の募集について (4) その他		
提 出 資 料	(1) 令和6年度小金井市市民協働支援センター準備室の活動状況 (2) 「やさしい人の畑を探検しよう！」参加者募集チラシ (3) DOKIDOKI 妄想こがねいヒストリー（7月19日開催）ワークショップのチラシ (4) DOKIDOKI 妄想こがねいヒストリー（令和7年度実施協働事業提案制度）のホームページ (5) 令和8年度実施協働事業提案制度募集要項		

【田中委員長】 皆様、お暑いところ、どうもありがとうございます。暑中お見舞い申し上げます。

それでは、ただいまから令和7年度第1回小金井市市民協働推進委員会を開会いたします。本日の会議は傍聴可能となっております。協働事業提案制度に関する議題については非公開となります。

それでは、まず、配付資料の確認を事務局からお願いいたします。

【事務局】 事務局です。少し気温は下がったような気もするのですが、お集まりの皆様、本当にありがとうございます。

資料の確認をさせていただきます。今日の会議資料は、次第を除いて5点ございます。資料1が令和6年度小金井市市民協働支援センター準備室の活動状況、資料2が「やさい人の畑を探検しよう！」の参加者募集チラシ、資料3がDOKIDOKI 妄想こがねいヒストリーの7月19日開催のワークショップのチラシ、資料4がDOKIDOKI 妄想こがねいヒストリー（令和7年度実施協働事業提案制度）のホームページ、資料5が令和8年度実施の小金井市市民協働事業提案制度の募集要項。お手元に資料のない方、不備等がございましたら、お申しつけください。大丈夫でしょうか。

【田中委員長】 よろしいでしょうか。

それでは、まず、次第に入る前に事務局からの報告があるとのことですので、お願いいたします。

【事務局】 事務局です。

推進委員について御報告させていただきます。4月の人事異動により、推進委員2名が新しい方となりましたので、御紹介させていただきます。

まず、全員そろいましたところで新しいメンバーを御紹介させていただきたいと思っております。東京ボランティア市民活動センター副所長の高山様が4月より異動となられたため、新たに副所長として来られた森様がボランティア団体関係者枠として当市の推進委員をお引き受けいただきました。

次に、前市民部長の西田に替わりまして、同じく4月に深澤市民部長が着任いたしました。2名の方に簡単に自己紹介と御挨拶をいただけたらと思っておりますが、森さん、お願いできますでしょうか。

【森委員】 4月から東京ボランティア市民活動センターに、3月までは地域福祉部という部門にいましたので、同じく社協とか、そういった関係とか、権利擁護の仕事をしておりました。そこから4月にボランティアセンターに異動してきて、3か月ぐらいたちましたが、ようやく慣れてきたところです。娘が小さい頃は、小金井市のお店によく買物に来ていて、懐かしく思ったところです。よろしくお願いいたします。

【深澤委員】 こんばんは。4月1日に市民部長に着任しました深澤と申します。3月までは市役所の本庁舎で、庁舎の管理とか契約の担当をしていました。20年以上勤務していますが、市民部に来ること自体が初めてなので、いろいろと学ぶことが多いですが、ここでも皆さんにいろいろ教えていただこうと思っておりますので、よろしく申し上げます。

【事務局】 ありがとうございます。

それでは、新しいメンバーの方がいらっしゃるので、顔なじみのメンバーがほとんどですが、皆様に一応簡単にそれぞれ御紹介いただけたらと思います。田中先生から、御挨拶をお願いいたします。

【田中委員長】 この会議の委員長を務めさせていただいております、田中敬文と申します。どうぞよろしくをお願いいたします。東京学芸大学は退職しましたが、現在は非常勤講師として、無給ですが、研究員として務めさせていただいているところです。専攻は公共経済学ですが、いろいろな自治体と、いわゆるNPO、市との協働に関する会議にいろいろ参加させていただいております。今は小金井市と武蔵村山市ですね。また、指定NPOというのは御存じでしょうか。普通のNPO法人に認定NPO、指定NPOというのを都道府県によって設けているところがありますが、最近まで、神奈川県指定NPOの審査会の会長をずっと務めさせていただいております。いろいろな形で多摩のほかの市のNPOとか協働の状況などに非常に興味を持っているところです。どうぞお知恵を拝借できればと思っておりますので、よろしくをお願いいたします。

【事務局】 邦永委員、お願いしてよろしいですか。

【邦永委員】 NPO法人連絡会から推薦をいただいてここに来ております、NPO法人こがねい子ども遊パークの邦永と申します。うちの法人はプレイパークという冒険遊び場の小金井市の委託を受けている団体です。プレイパークだけではなく、子どものまち、子どもたちの居場所づくりを主として活動しております。どうぞよろしくをお願いいたします。

【事務局】 石黒委員、お願いできますか。

【石黒委員】 石黒と申します。市民公募なので、本当に協働ということ自体、分からなくて、本当に皆様のお話を聞きながら学んでいる段階ですが、自分としては教育が一番興味があります。先ほどの居場所づくりや、どうすれば子どもたちが自発的にやりたいということをやれるのかについて、前回もその話が出ましたが、私もとても興味があるところです。これからもよろしくをお願いいたします。

【事務局】 森田委員、お願いいたします。

【森田委員】 一般公募枠ではありますが、NPO法人地域の寄り合い所また明日という法人の代表をしております森田眞希と申します。東社協さんは25年以上、小金井市さんとは30年以上ですか。いろいろと便利に使ってくださいとお話ししております。どうぞよろしくをお願いいたします。

【事務局】 今年度はこの6名の委員さんで協議を行っていきたくと思います。どうぞよろしくをお願いいたします。

事務局側もちょっとだけ自己紹介させていただきます。コミュニティ文化課長の中川と申します。よろしくをお願いいたします。

【事務局】 コミュニティ文化課の津端と申します。よろしく申し上げます。

【事務局】 同じくコミュニティ文化課の佐原と申します。よろしく申し上げます。

【事務局】 コミュニティ文化課から委託を受けております小金井市社会福祉協議会の小金井市市民協働支援センター準備室の北脇と申します。よろしく申し上げます。

ます。

【事務局】 同じく準備室の赤石と申します。よろしく申し上げます。

【事務局】 ありがとうございます。

【田中委員長】 それでは、次第の1番に入らせていただきます。令和6年度小金井市民協働支援センター準備室の活動状況について、準備室からの報告をお願いいたします。

【事務局】 ありがとうございます。資料1を見てください。

市民協働支援センター準備室の活動状況についての報告をいたします。準備室は平成20年2月策定の小金井市協働推進基本方針に基づいて市民活動団体と行政、また、市民活動団体間の協働に関して、御覧の7業務を行っています。これらの業務において、令和6年度の1年間分の報告を今回はさせていただきたいと思っております。

1番、相談コーディネーターの業務になります。こちら、相談内容としては、市民活動団体リストに関する相談、団体活動の運営や広報活動に関してのアドバイスなど、延べ333件、年間がありました。

ページをめくりまして、2番目です。主な相談内容ということでトピックスを載せております。こちらを見ていただくと、どんなものが多かったかわかります。学芸大も近い関係で、意識の高い学生さんが多く集まります。団体をやりたい、小金井市の地域課題を知りたい、地域の子どもたちとつながりたいということで、口コミで窓口によく相談に来られています。こういった方たちは、活動が軌道にのった後は、行事保険や、イベントの保険にも入っていただくので、その後も継続的に、今どんな感じですかとお話を聞きながら、そのときに何かあればお話を聞いたりしています。やはり状況を把握することによって、次につながるなど、そういった循環も出てきております。

NPO法人の相談です。こちら、主催事業の後援や、販路の拡大、担い手不足などといった相談をよく受けています。ボランティアとして、マンパワー、そういった形で御協力ができないですかということで、ボランティア募集で協力したり、いろいろなお話を窓口で伺っております。

それ以外には、企業の相談もありました。営利企業のところですが、ごみ拾い活動をしたいということで、本来は、本の販売をしているところですが、地域の課題を解決するような何かをしたいということで、従業員の皆様と話し合っ、ごみ拾い活動ということになりました。よくあるのは、自分の店舗の周りを皆さんで掃除することですが、そうではなく、皆様が気持ちよくできる場所はどこだろうということで、駅前を選択されておりました。こちらでは駅前のごみ拾い活動をされている団体さんがほかにいるのかとか、もしいるなら、いつ活動していて、その団体さんとぶつからないように、できれば等間隔に空くように、きれいな日が続くように、そういったことを踏まえながら情報提供をしました。また、ごみ拾いのため、ボランティア袋とかもあるので、市の情報や担当課につなげたりなどのお手伝いさせていただきました。その後、終わりましたの御報告などいただいて、今、月1回ぐらい活動されているそうです。窓口では、学生さんから企業の方まで幅広い方が御相談に来られています。

次のページに移ります。情報収集のところになります。資料の収集では、各市の協働センターの機関紙、各団体の広報紙などを集め、他市の情報からも参考にさせていただきます。また、後ほど説明しますが、他市などへ訪問もしております。

ブログなどの掲載数、アクセス数に関しては、御覧のとおりになっております。

他市訪問について、少し紹介させていただきます。令和7年3月に、コミュニティ文化課と私たち準備室の5名で町田市に行ってきました。名称が一般社団法人町田市地域活動サポートオフィスというところですよ。相手の方はオフィスの局長と町田市の市民協働推進課の協働担当の2名、計3名よりお話を伺ってまいりました。こちら、サポートオフィスは、立ち上げる前の2017年の有識者会議で十分に検討後、方向性を明確にし、施設管理なしのソフト面に特化した支援をしたいということで、地域活動サポートオフィスが誕生しました。大事にしていることは、よき伴走者であり、よき翻訳者であることとしています。地域活動に関する「困った」を一緒に考えて解決し、あなたの「やってみたい」を応援していく、そんなところだそうです。

支援の形としては4つあります。組織と事業の担い手の立ち上がりをサポートする立ち上げ支援、事業の運営をサポートする経営支援、人の組織、組織と組織など多様なつながりづくりをサポートする協働支援、社会の新たな仕組みづくりをサポートする改革支援などをされています。先ほども申し上げましたが、特徴的なのは、支援の形は施設ありきではないということで、貸館事業はしていないそうです。思い切ってなしにすることによって、ソフト事業に特化できるという環境をつくり出したそうです。これがとてもうまくいき、皆さん、お仕事は基本外に出ていくのが中心の業務となっているそうです。

では、完全に会議室がないということではなく、実は、町田市にて会議室を持っており、市民協働応援ルームというところがあります。必要があればこちらを借りて、相談に使用したり、イベントを行っているそうです。こちらは月1回で出張相談なども行い、そこには行政も市民も相談に来られる。行政も相談に来られるというのにすごく驚きを感じました。毎回とても盛況ということで、こちらの相談会は意義のあることになっているそうです。

そのほかに、まちカフェ！という町田市市民協働フェスティバルをされています。これは市内最大級の市民協働イベントということで、実行委員は何と100団体参加しておりまして、1団体1名以上の実行委員を出すことということなので、100名以上参加されているそうです。こちらの仕組みづくりは、行政は団体と協働しないと出られないという仕組みにしているのです、お祭りに出るためには、おのずと協働する形をとることになるというのが新鮮だなと感じました。なので、市民から協働してくださいとお願いするだけではなく、参加したい、いろいろPRしたいことを持っている行政のほうから、一緒にやってくれませんかとか普段から打診がかかる、そんな状態になっているので、本当にそこがうまくて、これはそのうち小金井市でもまねしたいと思うぐらい、目からうろここというか、とてもいい形が築けているんだなということを感じました。

ちなみに、協働している課は15から16課あるため、かなり高い参加率だと思います。1日で終わるイベントではなく、数日かけてやっているのです、どんな形なの

かというのは、今度見学に行く機会があれば行ってみたいと思っています。町田市はとても大きな市なので、小金井市で全てまねできるかどうかはまた別の話ですが、やはり協働することによって生まれることが自然に湧き上がる、そんな仕組みづくりなので、まねできるところはまねしていきたいと思いました。

次の話に移ります。市内の訪問活動についてです。行ったところが、木馬の会さん、こちらは障害児の放課後デイサービスをされているところです。障害児の方が放課後どのように過ごしているかというのは内部に入らないと意外と知らないことが多く、私が行ったときはカラオケ大会をしていました。皆さん、とても楽しく盛り上がっていて、障害児ではなく普通の子供たちとして楽しく、思い思いの過ごし方をされている、そんな温かい空間をつくり出している木馬の会さんでした。

それから、もう一つ行ったところが不登校の親の会、colorfullさんです。こちらは少し特色があり、LINEで市内の不登校の親限定の形でつながっています。ここも20人ぐらいでスタートしましたが、すぐに100人超えて、口コミでどんどん広がっています。ここは当事者の親だからこそ悩みを持っている、そういった話を聞きます。また、いろいろな段階の方がいるので、まだ行き渋りしていて、たまには学校に行くんですという子や、完全に行かなくなってもう7年たった子など、いろいろな方がいます。だからこそ声をかけられたりとか、お話を聞けたりとか、そういう余裕を持てたりとか、そういう関係性がすごく上手に生まれていました。お互いにいたわり合って、話し合って、でも、悲しむだけじゃなくて、ちゃんと前を向ける、浄化作用もあるような、そんな会の定例会に参加しました。たまに窓口にも来るので、今後もお話を聞いていこうと思っています。

次に、情報の発信になります。先ほどお配りしました、こちらの裏面、市民協働応援ニュースというのを月1回書いております。基本的には、NPO法人さんや、市民活動団体さんが普段相談されていて、こういった情報を載せたらいいなと思うことを載せています。あとは、協働提案制度の話ですとか、NPO法人連絡会とか、そういった小金井のNPO活動に関しても紹介しております。今回はたまたま基礎講座の話になっておりますが、こういったことも紙面を使って、情報発信を月1回させていただいております。

それ以外は準備室のブログがあります。閲覧数はこちらの表の中に入っておりますが、こちらの中から載せ切れない講座の情報とか、助成金の情報などを掲載しております。窓口に来た方で、そういったお話をした方には、こちらも見てくださいねということで紹介させていただいております。

次、5番目、協働の推進に関してです。1番、コミュニティ文化課とのミーティング。こちらは、電話やメール、もしくは直接顔を見ながら打合せを行い、情報を共有しつつ、協働の推進に努めております。

2番の各種会合のところは、先ほども出ましたNPO法人連絡会、福祉NPO法人連絡会、それから、市の協働推進の講演会ですね。あとは協働提案等の成果発表会などにも参加しております。

6番目、市民活動団体リストの管理。こちらに関しては、昨年度は3回行いました。4月、8月、2月、更新版をつくっております。その3回分のトータルの新規登録団

体ですね。小金井市の市民活動団体で新しく登録したいと申し出た方という形になるのですが、全部で10団体、残念ながら終わりにしますということで、削除していただきが6団体、それから代表が替わったりとか、連絡先が変わったりした方が11団体おりました。新規の団体に関して簡単に言いますと、まずは音楽鑑賞、それから、高齢者の方に聞かせる音楽療法ですね。歌ったり、一緒に手とか足を動かしたりする音楽療法です。それから、歌う会、まちづくり、子育て支援、外国人支援、自然保護などの団体になりました。そういった団体が10団体ありました。

7番、行政の協力です。こちらは令和6年度協働提案事業の候補者団体の事前相談や実施団体の打合せ等に参加しています。NPO法人派遣研修などの調整なども行っております。

最後に、その他の活動になります。こちらで、メーリングリストを把握している団体さんは2団体になります。子ども食堂関係と子育て支援ネットワーク関係です。特に子ども食堂関係に関しては、人気もあって、新規で立ち上げたいという方がとても多いので、立ち上がり資金のための助成金や助成金獲得の講座のお話、あとは勉強会、そういったものの情報提供を主にさせていただきます。

子育て支援ネットワークに関しては、子ども食堂のメーリングリストとかぶる内容もありますが、こういった情報を知りたいだろうなということをこちらで抽出してお渡ししております。あとはメーリングリストを特に作っていないので、全体に送ることはできませんが、ブログを通して皆様にお知らせしたい情報を提供したり、あとは窓口で相談があった方、大体1年ぐらいは、以前、相談いただいたことに関わるようなものを見つけた場合には、最近どうですかという内容とともに、こういったものがあつたので、情報だけお知らせさせていただきますというメールを送ったりなどして、連絡をとっております。

準備室からは以上になります。

【田中委員長】 御報告、どうもありがとうございました。

それでは、委員の皆様、御質問等がありましたら、御自由にお願いできればと思いますが、いかがでしょうか。

では、2枚目の市民活動団体リスト、新しい団体が7団体ということですね。以前は市のほうで市民活動団体リストという冊子版であったのですか。最近、私は見ていませんが、市のホームページ、あるいはボランティアセンターのホームページに、何かリストがあるのでしょうか。

【事務局】 はい。公民館や図書館に紙ベースのものも置いてありますが、基本的には、インターネットで見てもらっている形になっています。「こがねい市市民活動団体リスト」と入力すると、市のホームページに飛び、そこからPDFを閲覧できるようになっています。やはり皆さん、紙ではなくて、ウェブで見たいというのと、紙だとどうしても更新の速度が間に合わない場合もあるので、ウェブで大体3か月に1回更新するような形にしています。そういった内容のところを確認していただき、必要な情報を各自見ていただく形になっております。

【田中委員長】 今度じっくり見させていただこうと思います。リストの中でNPO法人が幾つか分かりますか。全体が、例えば50あるうち、NPO法人は幾つか。

市民団体はたくさんありますが、意外にNPO法人というのはあまりないというのが私の認識です。

【事務局】 目次があるので、そこにNPO法人はNPO法人と書いてありますので、その数を見れば分かります。ただ、この団体リストというものが、基本的には登録してくださいとお願いされてから載せるものです。もちろん窓口で、この団体さんに登録していただきたいとか、登録したほうがいいなと思ったら御案内するんですが、あえて登録したくない団体さんですとか、していないところもありますので、それが小金井市で活動しているNPO法人さんと同じ数になるというのはまた違う形です。なので、小金井市のNPO法人でも登録しているところと登録していないところがあります。

【田中委員長】 リストにあるNPO法人の数はいかがでしょうか。

【事務局】 そうですね。登録してある団体でNPO法人の数は、1つずつ数える形になりますが、分かります。今数えると、NPO法人というところから、タイトルがNPO法人になっているのが21団体です。よくお名前を聞く団体さんが多くありますが、NPO法人ときちんと名のっているのは21団体さんになっています。

【田中委員長】 そのほかにリストに登録されている団体というのは全部で幾つあるかというのは分かりますか。

【事務局】 257団体です。

【田中委員長】 どうもありがとうございます。

ほかに皆様いかがでしょうか。

私は、個人的にはたくさん聞きたいことがあって、例えば2枚目の相談のところに、いろいろ相談は大変なところがあると思いますが、真ん中あたりで、市民の方から畑でとれたトマトを寄附したいとあって、どう対応されたのかなというのが気になります。

【森田委員】 これは去年いただいたものですか。

【事務局】 そうです。去年の報告なので。

【森田委員】 とてもおいしかった。「また明日」に連絡すればすぐなくなるでしょうと言われたので、そのとおりと行って、取りに行きました。

【事務局】 これは、ちょうど台風があって、台風で駄目になる前に収穫したものがあるから、すぐ取りに来てと言われた件です。基本的に社会福祉協議会は寄附の受付とか、物の寄附の受付とかはマッチングが先に決まらないと引き受けないことになっています。もらったのに引受手がいないと、ごみになってしまう。ごみになってしまうともったいないですし、廃棄にもお金がかかるので、必ず見つけなければいけないのですが、普段からいろいろなお話をしているので、これならあの団体さんが欲しいという候補が幾つかあります。別の件でも閉所する事業所さんがあったので、それも子供の秘密基地をつくっている団体さんに声をかけて、こんな話が来ているんですけど、どうですかといったら、「欲しい、欲しい。今行く」みたいな感じでお返事もらえたので、すぐにつなぎ合わせました。そのような形で、仲介させていただいたりしています。

【田中委員長】 ありがとうございます。

【事務局】 ちなみに、ベビーベッドは行政が引き取りました。

【田中委員長】 そういう割合が多いと、お仕事が大変だと思いました。どうもありがとうございます。

ほかにはいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

【森田委員】 森田です。この間、社協さん経由で農林水産省のお役人さん方がいらして、子ども食堂の現状等々を知って、備蓄米をより効果的に生かすということで問合せがありました。「紹介してもいいですか」と依頼があったので、「いいですよ」とお話しして、せっかくなので、農林水産省の方々とうちだけのやり取りではなく、食堂の職員さんにいらしてもらい、そこで小金井市はうまく協働してやっているんだよというスタイルを見せたいなということもあって、子育て支援課にも声をかけようかなと思って、ころっと忘れて行ってしまったのですが、社協さんと私でお迎えして、お話ししました。

そのときに実際は知りたいと言いつつ、逆ですね。知ってほしいという感じでした。きっと大臣が替わって、それが上からいろいろなことが下りてきて、現場が右往左往しているところが本当によく分かった。お話を聞いていて思ったのですが、話の中ですごく言葉、キーワード、支援、支援、仕組み、仕組みというのを多々使うんです。数えようかなと思ったぐらい、でも、そもそも何かその言葉を使わなければいけない、使うときのニュアンスが、やっぱり上から下がってくる。私たちのような、あなた方のような地べたで頑張っている人たちに下ろしてさしあげようみたいな、最後のほうはそんな気分を受け取りました。

何か協働というときを考えるとときに支援で、私からお話ししたときには、ちょうど赤ちゃんからお年寄りまでいて、小学生や中学生の子どもたちもいっぱいいたので、支援はもう結構ですとお伝えしました。この人たち、自分でやれる力が育っていますので、結構ですから、この人たちもずっと支援をされているというのは支援疲れですから、その冷凍庫を買ったらこういうお金がつかますよとか、そもそも今5億円の予算がついているので、こういう仕組みをつくれれば、そこに幾ら下ろしますよとか、そんなお話ばかりでした。そのお金を、ここにいる子どもたちのために使ってください、冷凍庫は私が買いますというお話をしたのですが、協働する上ではエンパワーメントということを経験しては考えていくということを、どんなふうな言葉を使ったら、このお役人さん方に伝わるのかと考えてしまいました。結局、最初から最後まで話がかみ合わないままで終わってしまいました。

何か協働ということの在り方は、支援ということではなくて、互いに、先ほどの町田市の協働でもそうですが、エンパワーメントし合ったその先に協働があるのかなと、そんなことを考えさせられた御訪問でした。

すみません。以上です。

【田中委員長】 どうぞ。

【深澤委員】 すみません。1個お伺いしたいのですが、2番目の表の中で、依頼者で他市と書いてあって、準備室と窓口相談については、自治体から問合せがあったということですか。

【事務局】 はい。お隣の市からの問い合わせだと思うのですが、準備室は何をや

っているところですかとか、どんな相談が来ますかみたいなことを聞かれました。

【深澤委員】 ありがとうございます。

【田中委員長】 それは興味深いですね。その方は匿名希望ですか。

【事務局】 今その資料を持っていないので、不確かですが、国分寺だと思います。

【田中委員長】 国分寺はいろいろやっていますね。

【事務局】 そうですね。ただ、参考にしたいということで、結構細かくいろいろなことを聞かれて、事業以外に窓口で相談を受けるときに、どんなことを大事にしていますかとか、ちょっと個人的な形になるようなものまで幅広く聞かれて。その後、コミュニティ文化課を紹介しましたが、直接電話はしなかったようなので、一応こちらで満足されたようです。

【深澤委員】 ありがとうございます。

【田中委員長】 ほかにいかがでしょうか。

では、御報告どうもありがとうございました。

それでは、次へ行かせていただいてもよろしいでしょうか。

続きまして、2番です。令和7年度実施協働事業提案制度の進捗について。まず、事務局からお願いいたします。

【事務局】 事務局です。令和7年度実施の協働事業提案制度の進捗状況について御報告いたします。

まず、市民提案型協働事業のやさいじん制作委員会さんのやさいじんと学ぶこがねいわくわく農業プロジェクトについてです。資料2を御覧ください。こちらが、市内の農家さんなどに協力いただき、畑を探検するワークショップ。3回ワークショップを予定しておりまして、1番が庭木を育てる畑を探検、7月12日土曜日に実施、場所は春光園さん。2番が野菜がいっぱいの畑を探検、これは8月1日の予定で、場所が高橋農園さん。3番がお花を育てる畑を探検、8月5日実施予定で、場所は大久保園芸さんとなっております。市内小学校にチラシを配布し、募集を行っているとのこと。7月12日に実施した庭木を育てる畑を探検においては、大人が4名、子供が11名、計15名の方が参加したとのこと。

そのほかの結果については、改めてお知らせいたします。

続きまして、一般社団法人k i k iさんによるDOKIDOKI妄想こがねいヒストリーについてです。こちらは資料3を御覧ください。こちらは令和7年7月19日に、「土器でDOKIDOKI!? 妄想から学ぶ小金井史」のワークショップを開催いたしました。教育委員会生涯学習課の高木学芸員を講師として、小金井市の歴史にまつわる妄想を参加者の皆さんで行うという内容で、私も後半に参加させていただきましたが、参加したときには、もう皆さん先生の話に聞き入っておりました。前半がどのような感じだったのか分かりませんが、高木先生のお話はすごく面白いので、皆さんはかなり大満足な感じだという感想です。

今後ですが、資料4を御覧いただきますと、裏面に記載のとおり、7月から9月に歴史紹介看板をつくって、10月以降には、看板の設置を各公園にしたいということで予定しているとのこと。今後については、改めて御報告させていただきます。

進捗状況は以上となります。

【田中委員長】 どうもありがとうございました。

進捗状況について、御質問等はございますでしょうか。皆さん、今、2つ御紹介いただきましたが、参加されたり、見に行ったりとか、話を聞いたりとか、そういう方はいらっしゃいましたか。

【森田委員】 これはみんな、また明日の子どもたちです。

【森委員】 結構、屋外とか暑いですね、今の季節。

【森田委員】 そうですね。それなので、飲物は準備してくれるということだったので、みんな水筒を持たせて、それで送り出しました。

【森委員】 やっぱりいろいろな地域で夏の活動は悩ましくて、特に屋外は。

【森田委員】 そうですね。

【石黒委員】 感想はどうでしたか。

【森田委員】 春光園さんって、こどもの日には大きなこいのぼりを泳がせていらしゃる。ふだんの生活の中では、春光園さんと言ってもぴんと来なくても、話して、ここを曲がってまっすぐ行くと、「こいのぼりが泳いでいるところだね」と割とみんな認識をしているのだと気づきました。これがきっかけで、例えばムーちゃん広場で、農協に行ったときにも写真を見て、高橋農園さんだねとか、話すようになっています。実際、自分で足を運んでみるというきっかけづくりにすごくなっていると思いました。

【田中委員長】 ほかにはいかがでしょうか。

それでは、2番はここまでとさせていただきます。よろしいでしょうか。

ここから、協働事業提案制度の内容にかかるため非公開

— 了 —